

南京占領直後の松井大将の滞在場所





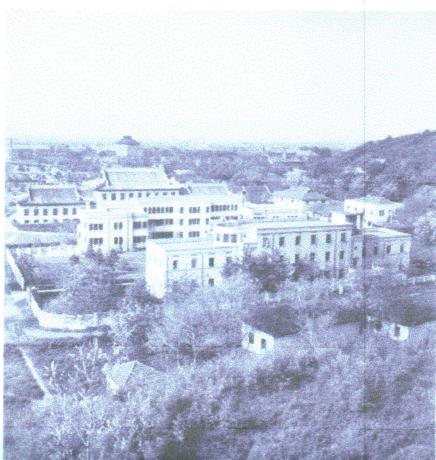
●首都飯店

1933年竣工。国民政府時代の南京で最も豪華なホテルで政府・軍関係者が利用。華江飯店と改称し現存。4階建てで客室は50余室。1937年から1945年まで上海派遣軍司令部。現在は南京軍区装備部に属す。

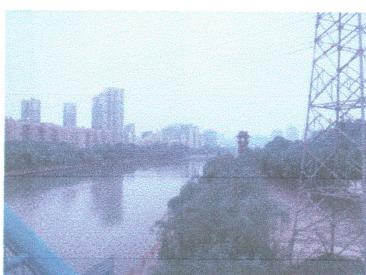


●北極閣

北極閣は民党軍の通信司令部がある重要な軍事施設であった。
右は北極閣から撮影。朝日グラフ 1937年1月11日影山特派員撮影。
中央大学の屋根が見える。



左は1944年、モリソン女史が鶏鳴寺あたりから写した写真。遠くの円形屋根が、当時江沢民が在学(日本語科)していた中央大学。



●清涼山

写真は清涼山の隣の石頭城から南京城西沿いの秦淮河を見る。



12月15日中山北路東側の安全区付近

12月15日中山北路東側の安全区付近では、すでに水餃子の露店などが営業。日本兵がお客様の第一号。



12月15日

戦禍を免れた市民が大勢集まっていた。12月15日